



# 岡山市水道事業審議会

第30回資料

平成20年2月27日(水)13時～

岡山市水道局 三野浄水場ほか

岡山市水道局

## 目 次

### 視察

- 1 矢坂山配水池の概要 . . . . . 1
- 2 三野浄水場・水質試験所の概要 . . . . . 3

### 報告

- 1 岡山市水道事業総合基本計画アクションプランの策定について . . 5
- 2 水道料金の統一にかかる結果等について . . . . . 7

## 視察 1 矢坂山配水池の概要

配水池には、配水量の時間的な変動を調整する機能ばかりでなく、非常時においても断水することなく水の供給ができる高い安定性が求められる。市内には108か所（平成18年度）の配水池があり、加圧ポンプ場や配水管などの管路を含む送配水施設は、水道の動脈に相当するものである。非常時にも安定した給水を確保するため、配水池容量の確保に努めている。

矢坂山配水池は、市内でも最大級の容量を有する基幹配水池のひとつである。昭和56年に完成し、一日あたり約3万5千立方メートルを配水している。また、阪神・淡路大震災をきっかけとして耐震設計指針の見直しが行なわれたことから、1号池の補強工事を平成17年から19年にかけて施工した。配水池上の盛土を撤去し、配水池内部に補強材として鋼製ブレースを設置した。あわせて、内面劣化補修としてステンレス板を張ったものである。（写真参考）

現在、これに隣接して、三門・岩井地区に給水を行う矢坂山第2配水池を整備している。三門・岩井地区には三門加圧ポンプ場から給水を行なっているが、施設が老朽化しており、落雷による停電時には水圧低下や濁水が発生することがあった。これらを解消し安全で安定した給水を行うために、この度矢坂山第2配水池を整備した。

### 施設概要

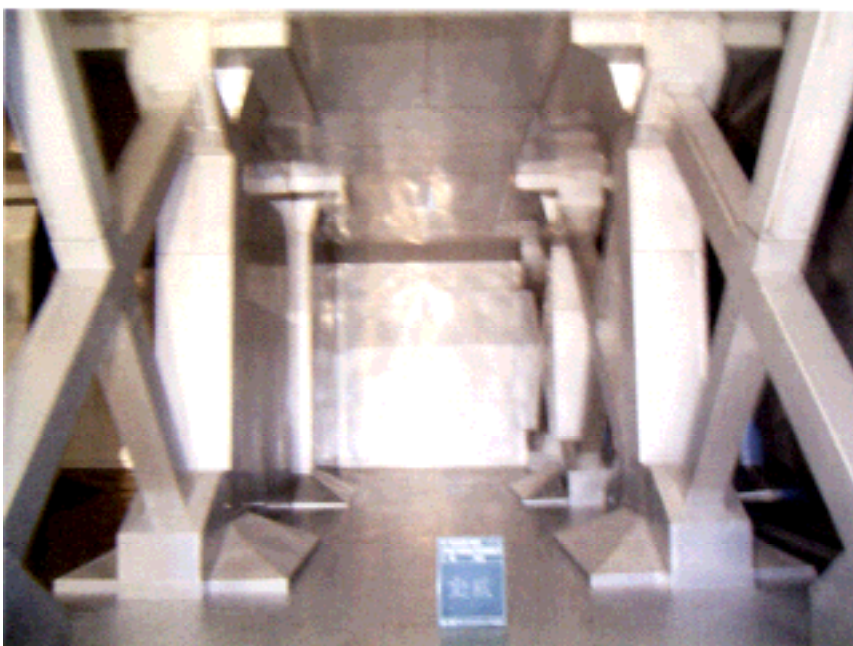
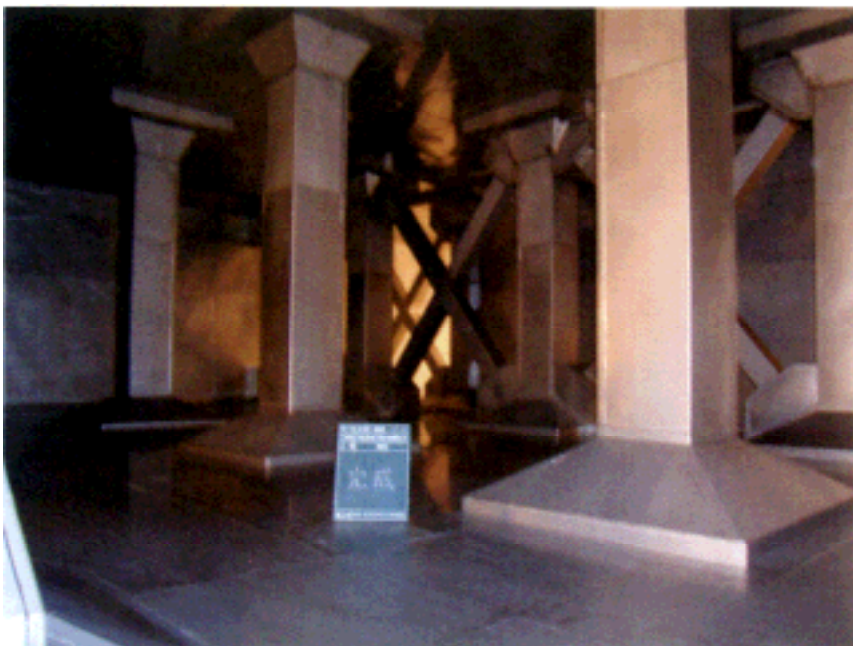
#### 矢坂山配水池（1号～4号）

(1) 場所	西崎本町1028番地	
(2) 完成	昭和56年4月	
(3) 構造	鉄筋コンクリート造	容量30,000m <sup>3</sup> (7500m <sup>3</sup> ×4池)
	HWL	+50.80m
	LWL	+46.80m

#### 矢坂山第2配水池

(1) 場所	西崎本町1028番地	
(2) 工期	平成18年9月～平成20年3月	
(3) 構造	ステンレス製	容量100m <sup>3</sup> (50m <sup>3</sup> ×2池)
	HWL	+73.00m
	LWL	+70.00m

(参考) 矢坂山配水池補強工事



## 2 三野浄水場・水質試験所の概要

### 1 三野浄水場

岡山市の水道は、市の中心部を流れる旭川、東部を流れる吉井川を主な水源としている。市内には10か所の浄水場があり、中でも三野浄水場は主として市の中心部～西部一帯に給水している市内最大の浄水場である。

本市で最初に建設された浄水場で、明治38年の水道創設以来、100年以上にわたって稼動し続けている。現在、将来の更新や万一の事故にも対応できるよう、3号急速ろ過池を建設している。

#### 施設概要

- (1) 名称 三野浄水場
- (2) 場所 岡山市三野一丁目2 - 1
- (3) 用地面積 84,195 m<sup>2</sup>
- (4) 施設能力 186,000 m<sup>3</sup>

### 2 水質試験所

平成13年1月に完成した水質試験所では最新の検査機器を整備し、精度の高い水質検査を実施している。近隣町村の水質検査業務を受託するなど、広域的な連携にも努め、県内事業体における水質検査機関の中心的な役割を果たしている。

現在、検査や試験の正確さ・適正さを第三者により保証する制度、水道GLPの認定取得を目指して取り組んでいる。

#### 施設概要

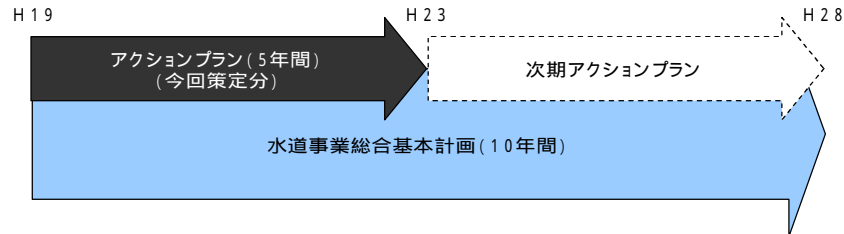
- (1) 名称 水質試験所
- (2) 構造 鉄筋コンクリート造3階建て
- (3) 延床面積 2,011.58 m<sup>2</sup>



# 報告 1 岡山市水道事業総合基本計画アクションプランの策定について

## 1 位置付け

新総合基本計画（アクアプラン2007）の当面の5年間（平成19年度から平成23年度）における具体的計画



## 2 策定にあたっての留意点

アクアプラン2007の基本施策の6本柱に基づき、事業の実施項目及び施設の整備予定等について、スケジュール、数値目標の設定など可能な限り具体的に記述した。

## 3 アクションプラン期間中の主要な課題

### (1) 水需要の予測

人口増、少子高齢化社会、核家族化の進行等による給水戸数の増加はあるものの生活様式の変化、節水機器の普及等により需要の伸びは期待できない。

### (2) 施設の老朽化による更新と災害対策

現在の水道施設の多くが今後更新時期を迎え、さらに、近い将来の発生が予測される地震等に備え災害対策の充実を図る必要がある。

## 4 行財政改革の推進等による経営基盤強化

水需要の増加が見込めない中、財政需要は山積み経営は厳しさを増すが、行財政改革の推進等により経営基盤を強化する。

## 5 財政の見通し

(単位:百万円)

項目		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	計
		決算見込み	見込	見込	見込	見込	19～23年度
収益的 収支	事業収益(A)	14,922	14,644	14,821	14,841	14,936	74,164
	事業費用(B)	14,605	14,426	14,656	14,732	14,876	73,295
	差引(純損益)(A)-(B)	317	218	165	109	60	869
資本的 収支	資本的収入(C)	4,676	5,030	2,530	2,402	2,325	16,963
	資本的支出(D)	10,239	10,200	7,813	7,751	7,729	43,732
	補てん財源(E)	4,973	5,095	5,132	5,182	5,255	25,637
	差引(C)-(D)+(E)	590	75	151	167	149	1,132

(収益的収支は税抜き、資本的収支は税込み)

## 6 基本施策の6本柱による実施事業（主要なもの）

総事業費 345億2千9百万円

経費削減額 31億9千1百万円

### 安全でおいしい水の供給

急速ろ過池の改良、紫外線処理の導入（クリプトスポリジウム対策）  
合併地区への水質監視局設置  
水道GLP（優良試験所規範）の取得（水質試験所）

### 信頼性の高い水道システムの確立

灘崎地区への連絡管整備（安定給水の確保）  
鴨越浄水場休止に伴う配水系統の整備  
配水施設の廃止、統合

### 災害に強い水道づくり

重要度ランクによる施設の耐震化  
避難所（小中学校）への応急給水栓の設置  
退職者災害支援協力隊の設立

### お客様の満足に応える水道づくり

お客様センターの設置（窓口の集約化）  
料金徴収事務の効率化  
料金のクレジットカード決済

### 行財政改革の推進等による経営基盤強化

定員管理の適正化  
企業債削減による支払利息の低減化

### 資源循環型の水道システムの構築

ISO14001の合併地区への拡大  
浄水発生土の有効利用の拡大  
太陽光発電設備の設置

## 7 プランの公表

水道局ホームページへ掲載



## 2 水道料金の統一にかかる結果等について

### 1 経過

合併地区の料金統一については、灘崎地区の要望並びに昨年11月15日開催の水道事業審議会の意見を踏まえて条例改正（案）を作成し、11月議会に上程して平成19年12月21日に議決された。

#### <合併地区の料金統一>

- 1 平成20年4月から、合併4地区の水道料金を岡山地区の料金に統一する。
- 2 灘崎地区については、平成20年度の1年間に限り、値上げ額を2分の1に抑える緩和措置を講じる。

### 2 利用者への周知等

- (1) 料金統一により実質的な値上げとなる使用者を対象に、11月議会への議案上程についての文書を送付
  - ・平成19年12月11日発送
- (2) 各地区の1月号及び4月号協議会だよりに記事を掲載
- (3) 「市民のひろばおかやま2月号」に折り込みチラシ（瀬戸地区のみ）
  - ・システム統合に伴う料金請求の変更等の広報と合わせて
- (4) 局広報紙「アクア通信3月号」に記事を掲載